



認知症を知ろう

今回は認知症の症状について紹介します。

一見問題だと思われる行動にも実は理由があり、周囲の理解がポイントになります。

【認知症】

様々な原因により、脳の細胞が減少したり、働きが悪くなったために、生じる**病気の総称**です。主に以下の**4つ**の症状が生じます。

※個人によって生じる**症状や程度に差**があります。

1 記憶障害

加齢による物忘れではなく、**体験した出来事そのもの**を忘れてしまう

財布や通帳を置いたこと自体を忘れる



盗まれたと考え、怒る



2 見当識障害

日時や場所の感覚が失われる
自分の周囲の状況が把握しにくくなる

自分がいる場所が分からない



自宅に帰ろうと徘徊する



3 理解・判断能力の障害

考えるスピードの低下
2つのことが重なると処理困難となる

言葉の意味を理解するのに時間がかかる



返答や行動が遅くなる

4 実行機能障害

- 目的を設定する
 - 段取りを立てる
 - 計画的に実行する
- } 困難

料理の手順を考えるのが困難になる



食事を効率的に作ることができない



重要!

周囲との摩擦が増えたり、不安を強く感じると、より暴言や徘徊を助長してしまいます。
認知症の方を理解し、なぜ、その症状が生じているのかを考えていくことが重要です。

対応が困難な場合は、リハビリのスタッフやケアマネジャーさん等に早めに相談してください。
1人で抱え込まず、多くの人で考えて行くことがご本人や対応する方の生活を守ることに繋がります。